

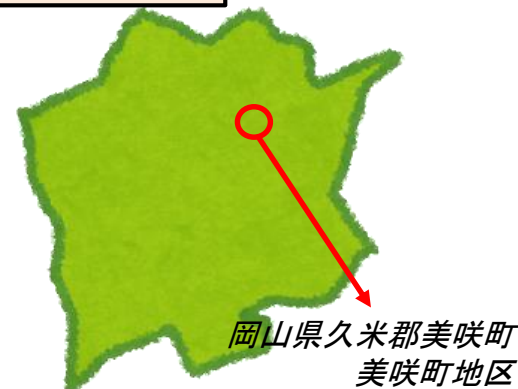
取組の概要

取組の概要 : 施設を組み合わせた産地規模の拡大
 計画作成主体 : 美咲町農業再生協議会
 対象品目 : ぶどう (産地面積: 43ha)
 主な取組主体 : 津山農業協同組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 生産支援事業 (パイプハウス等の資材導入)

ポイント

市場ニーズの高い施設ぶどうの栽培を推進することで、収量、販売単価が増加し収入が安定するとともに、露地栽培と合わせてリレー出荷が可能となり、販売額10%以上の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 39ha
 出荷数量 : 304t
 販売額 : 634,366円/10a

〈目標:H31年度〉

作付面積 : 43ha
 出荷数量 : 383t
 販売額 : 735,417円/10a



推進体制

地域の関係者 (岡山県、美咲町、津山農業協同組合) が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

○中山間地域における水稲にかわる基幹作物として「ぶどう」を位置づけ、積極的に推進を行っている。

〈県・市町村独自取組〉

○町として「美咲ぶどう」の2kg箱を作成し生産者に配布、現在は一部補助を実施及び「ぶどう」はふるさと納税返戻品として使用している。

事業効果

- 施設化を推進することにより、市場ニーズが高い時期に販売量の増加が可能となり、品質も安定するため、販売単価の向上が期待できる。
- 生産量、販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、ぶどうの産地力強化を実現。

～ぶどうの販売額～

